

リブインコート 作り方



■二重の袖の内側がリブ仕様のため、袖先からの風を通しにくい防寒機能が特徴のラグランコートです。

■身頃も袖も総裏付きなので暖かく、どんでん返して作るため縫製は比較的簡単。

■前身頃に見返しがあり、ボタンホール開けやスナップボタン付けが楽に行えます。

■フードを外側にくるくると丸め首元に付けたフラップボタンで留めると襟のように収納できるため、外遊びの際も安心です。

■フード口は切り替えなし(フード続き)、ボアなどでの切り替えあり、から選べます。

■パターンはすべて縫い代込みとなっておりますので、切り取ってそのままお使いいただけます。

■「わ」の表記と指定の数字以外は縫い代1cmで作製します。

■家庭用ミシンのみでも作製できます。

■テンションの低い生地でも作製可能ですが、ニット推奨パターンです。

※こちらのパターンを使用して作られた作品については、委託販売・ネットショップ・オークション等、個人の範囲内に限り自由に販売していただいて構いません。

※パターン及び仕様書自体の中古販売・複製販売は、固くお断りさせていただきます。

ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。

用意するもの

□表裏身頃生地...キルトニット、裏毛、ジャガード、ボアなどの厚手ニット

□袖(上)生地...ニット用裏地、裏毛くらいまでの中厚ニット生地推奨

□袖(下)生地...①は裏袖が4枚重なる部分のため、天竺～ミニ裏毛くらいまでの厚すぎない生地推奨 ②は表袖と裏袖をつなぐ生地で、表袖を折り返した場合には見える部分です。ニット用裏地、天竺、ジャガード、ミニ裏毛などの厚すぎないニット生地推奨

※袖(上)・袖(下①②)は別生地でも同生地でもOKです。

□袖リブ生地...テレコリブニット、フライスリブニットなど

□ボタン...(80～100サイズ)→4個、(110～150サイズ)→5個

□フードを留めるためのフラップ(必要な場合)...幅1～1.5cmくらいのパイアステープやゴグランリボン、綿テープなど6cmくらい

★ 出来上がり寸法 (cm)

	80	90	100	110	120	130	140	150
身巾	32	34	36	38	40	42	44	46
着丈	40	44	48	53	57	62	66	71
衿丈	42.5	44.5	48	53	56.5	61	65.5	70.5

★ 必要用尺(cm)150cm幅

	80	90	100	110	120	130	140	150
表生地	75	90	110	110	125	130	140	150
裏身頃のみ	50	50	60	65	65	70	75	80
裏フード・裏袖 見返しなど	50	50	50	50	60	70	70	80

※一定方向にとった場合の用尺です。

※この他に袖リブ生地(20cm未満)、接着芯が必要です。

★ 必要パーツ(表生地)



※フード口は直裁ちですのでパターンはありません。寸法は各サイズのフードパターンに記載してあります。

★ 必要パーツ(裏生地)



※準備

◎見返しに接着芯を貼っておく。

◎(必要であれば)ポケットフラップにも接着芯を貼る。

◎袖(下)①②パーツの上下方向をそれぞれ分かるようにしておく。

縫い方手順



1. ポケットを作ります。
 ポケット口と周りがかがり、ポケット口は1.5cm折り返してステッチをかけ、周りは1cm折り返しアイロンで押さえます。
 ※厚紙でポケット(縫い代除く)の台紙を作り、アイロンでカーブを整えるときれいなカーブになります。



2. フラップを作ります。
 表裏とも同サイズでも良いですが、裏生地を2mmくらい小さめに裁断すると表から見た際に裏生地がはみ出すことなく仕上がりがきれいです。
 端を合わせて1cmで縫い合わせ、縫い代を半分くらいに切り落としておきます。



3. 表に返してアイロンで形を整え、お好みで端から2mmくらいのところにステッチをかけます。
 縫われていない上部をかがっておきます。



4. 前身頃の指定の位置にポケットを合わせ、端から2mmくらいの箇所にステッチをかけます。
 ポケットより5mmくらい上にフラップを合わせ、先程かかった箇所を縫い付けます。



5. フラップを折り返しアイロンで整え、フラップ上部に押さえミシンをかけます。
 めくったときにかがった糸が見えないよう、少し太めの幅で押さえておくとも良いと思います。



6. 次にフードを作ります。
 フード左右パーツと中央パーツをそれぞれ中表に合わせ縫い合わせます。
 裏生地も同様に縫い合わせ、縫い代をアイロンで割っておきます。



7. 表フードと裏フードを中表に合わせ、フード口を縫い合わせます。
 フード口をボアで切り替える場合は表生地と裏生地の間に挟み、縫い合わせます。
 表に返し、形を整えておきます。



8. 表身頃と袖を縫い合わせます。
 後身頃と袖、前身頃と袖をそれぞれ中表で縫い合わせます。
 袖先をそれぞれかがっておきます。



9. フードを収納して着用するためのフラップを付ける場合は、長さを半分に折って表身頃の首元中心に縫い付けます。
 (フラップを付けない場合は省略可)



10. 表を中にして、左右とも袖先～脇～身頃裾までを縫い合わせます。
 表身頃はこれで完成です。



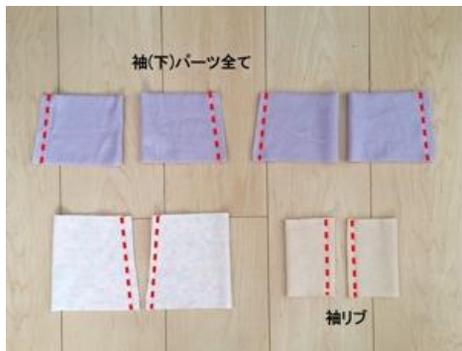
11.裏前身頃と見返しを中表に合わせ、縫い合わせます。



12.後身頃と袖、前身頃と袖(上)をそれぞれ中表に合わせ、縫い合わせます。後ろ裏身頃にタグ等をつける場合はこの時点で付けておきます。



13.表を中にして袖～脇～身頃裾まで縫い合わせます。その際、左右どちらかの身頃脇を10cmくらい縫わずに返し口をあけておきます。



14.袖(下)①4枚、袖(下)②2枚、袖リブをそれぞれ中表におり、端にミシンをかけます。縫い代を割り、袖リブのみ表が出るように半分に折り返しておきます。



15.袖(下)①と袖リブを縫い合わせます。袖(下)①とリブを中表に合わせ、さらに表に返した袖(下)①をリブのなかに入れ込み縫い合わせます。※短い方の辺を縫います。方向に気をつけてください。それを2つ作ります。



16.表に返すとこのようなパーツになります。リブの中も外も縫い代が見えない状態になっています。



17.身頃に付けた袖と合体させます。まず袖(上)の中にリブの付いた袖(下)①を入れ込み、さらにその袖(下)①の中に表にした状態の袖(下)②を短い辺が奥になるように入れ込みます。



18.内側から、袖(下)②～リブ付き袖(下)①～袖(上)の順番にあればOKです。計4枚重なっている端を縫い合わせます。



19.縫い合わせた裏袖を表に返すとこのような状態になっています。



20. 表身頃の首元部分にフードを中表に重ねます。
フード端は身頃両端より1cm内側に合わせてください。
※フードパーツの縫い合わせと袖の縫い合わせ部分は合いませんので、無理に合わせなくてOKです。



21. その上に裏身頃を中表になるように重ね、端をぐるっと一周縫い合わせます。



22. 裏身頃に空けておいた返し口から手を入れて中の生地を引っ張り出し、裏返します。
見返し部分など、アイロンを当てられる素材の部分は整えておきます。



23. 表袖と裏袖を重ねて裏身頃側に出します。
リブ部分をまくり上げ、袖(下)②パーツと表袖先が見えるようにしておきます。



24. 袖(下)②を表袖先より1.5cm上へずらし、表袖先を1.5cm折り返します。
アイロンで押さえて、ステッチを掛けます。
これで袖の完成です。



25. 指定の位置にボタンホールとボタン、またはスナップボタンを付けたら完成です！！
お疲れ様でした♪



※フードを留めるためのフラップを付けた場合は、フラップにスナップボタンの片方を付け、実際にフードを外側に丸めてみてちょうどいい位置を見つけ、フード側にもう片方のスナップボタンを付けてください。